

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 ☎763-5110
 会長 野村 義雄
 幹事 深見 章
 会報委員長 北野 寿三郎

No. 17

ROTARIANS-UNITED IN SERVICE
DEDICATED TO PEACE

ロータリアン——

奉仕に結束 — 平和に献身
1987~88年度 R I 会長 チャールズ・C. ケラー

第261回例会 昭和62年11月10日(火)

晴

- ◇ “君が代”
- ◇ “奉仕の理想”

◇出席報告

会員 54名 出席 40名
 出席率 74.07 %
 前回 10月27日 (修正出席率) 98.15%

◇ビジター紹介 5名

◇お誕生日祝福

加藤(大)君(11/14)

◇ニコボックス

加藤 正義君 62年11月3日愛知県知事賞受賞、大変御世話様になっておりますことを御礼申し上げます。

松居 敬二君 ホームクラブごぶさたしました。オーストラリアより無事帰国しました。

水野 賀統君 早退させていただきます。

三輪 康君 ホームクラブ大変御無沙汰しました。

永井 正義君 竹内君、浅井君、5日は大変たのしかったです。お世話さまでした。

加藤 大豊君 誕生日祝い。

木全 昭二君 結婚記念日祝い。

◇深見幹事報告

1. 本日例会終了後、臨時総会を開催いたしますので、全会員の方はそのままお残り下さい。

◇野村会長挨拶

立冬も過ぎまして、これからだんだん寒くなるかと思えます。皆様風邪をおひきにならないよう、ご用心していただきたいと思えます。

本日も5名のお客様をお迎えいたしまして例会の持てることを、たいへんありがたいと存じております。

本日のスピーカーとして1986~87年度ロータリー財団奨学生、ミュンヘン国立音楽大学大学院ピアノ専攻の内藤 江美さんをお

迎えしています。素晴らしい演奏を披露していただけることと思います。

◇講演

“留学あれこれ”

菊里高校音楽教諭

内藤 江美 さん (紹介 深見君)



ロータリー財団奨学生として、私が留学させていただいた西ドイツのミュンヘンは、昨年、指揮者のチェリビダッケとともに来日した、ミュンヘンフィルハーモニー管弦楽団をはじめ、バイエルン放送交響楽団、バイエルン国立歌劇場などがあり、西ドイツの中でも、音楽の水準の高い都市のひとつです。

ヨーロッパの人々は、音楽がとても好きです。西ドイツは、人口が日本の約半分ですが、オーケストラが百近くもあるそうです。オーケストラ、そして劇場、そういった文化に対する公の補助は、相当なものでしょう。ミュンヘンの国立劇場では、ほとんど毎日オペラが上演されていますが、早くから切符が売り切れることは、日常茶飯事です。冬のマイナス十度という寒さの中でも、発売日の朝早くから、一時間、二時間と並んで買う人の列ができます。当然のことながら、ヨーロッパの音楽を自分のものとして楽しむ環境に育っているのです、音楽会に行くということが、ごく自然です。朝から晩まで、クラシック音楽を

流しているラジオのチャンネルもあります。ですから、聴き方がとても上手だと思いました。

ミュンヘンの音楽会では、聴衆は、実にあたたかい拍手を惜しみなく送ります。日本では、外国の有名な演奏家の時には、ブラボーという声が聞こえますが、日本人のまだ有名でない演奏家には、すばらしい演奏をしてもほとんどブラボーと言いません。また、演奏者が舞台のそでにひっこんだり、もうアンコールの曲を演奏しないとわかったりすると、すぐに拍手がやんでしまったり、そそくさと帰り支度に専念しはじめたりします。

ヨーロッパでは、多くの人々が楽しんで音楽を聴きますが、感想を聞くと、とても鋭い、的と射たようなことを言います。自分の趣味に合わなければ合わないとはっきり言いますし、「音楽に心がこもっていない」などと、専門家でなくとも簡単に見抜いてしまいます。演奏家にとって、それは、ある意味では恐ろしいですが、聴く耳を持った聴衆が、また、すばらしい音楽を育てているような気がしました。

ミュンヘンでの、私のカウンセラーのピットナーさんには、家族の一員のように親切にお世話いただきました。寝食を共にする時間もたくさんあり、ドイツの家庭の中の垣間見ることができたのは、ロータリー財団の奨学生ならではのことだと思えます。ドイツでの留学生活は、私の人生の中で本当にすてきな、有意義な時間でした。西洋音楽を勉強する者にとって、その音楽が生まれた土地で生活してみることは、頭でなく、肌でひしひしと音楽の息吹きを感じることができて、この上ない喜びです。今後、教育という形で、その喜びを伝えていけたらと思います。最後になりましたが、心からお礼を申し上げます。

◇市内15R C麻雀大会参加

去る11月10日(火)名東R Cホストにて開催。個人では太田君が優勝と奮闘。また団体戦では、松藤君、松居君、太田君の活躍により、準優勝！(驚野君曰く、私が足をひっぱらなければ優勝でした。)

次回より多数ご参加いただき是非優勝を…。

◇ガバナー・ノミニ―事務所開設のお知らせ

開設日 昭和62年11月6日(金)

名称 国際ロータリー第276地区
ガバナー・ノミニ―事務所

住所 〒440 豊橋市花田町石塚42
豊橋商工会議所6F

ガバナー・ノミニ― 高沢 隆

TEL 0532-55-8222(直通)
0532-53-7211(内線256)

FAX 0532-53-6447

◇ヘザー・ワローズさん英語レポート紹介

私が日本へ発ってから、早くも1年が過ぎてしまったなんて信じられません。日本での日々はあまりにも早く過ぎてしまいました。しかし、大変に特別で大事な年で、私は、決して忘れることはないと思います。日本へは何故行くのか、何人かの人に聞かれました。大きな学習体験となると考え、1年間日本で暮らすことに決めました。日本の文化・習慣・歴史、そして言葉に挑戦していくことに魅かれました。治安は大変良いし、人々は信じられない程親切で愛想が良いと聞いていました。どの点をとっても期待を裏切りませんでした。日本での1年で、私の日本への愛情は育まれ、日本が第2の母国となりました。

日本に着いた時、私は「こんにちは」と「ありがとう」しか日本語が話せませんでした。言うまでもなく、これは、私にとって難題にはなりません。しばらくしてわかったことは、私たちは一人て日本へ来て、日本の生活・家族、そして学校に十分触れるのだから言葉を学ぶことは、交換留学生にとってより重要なことだということです。特に、郊外に住んでいる学生は、個人的に英語で話す人に会う機会がないので、ホストファミリーと学校を通して、重要な関係が生まれてきます。

(次号へつづく)

◇例会変更のお知らせ

豊山一城北R C 11/24(火)夜間例会の為、
PM 6:00より

名古屋名東R C 11/24(火)夜間例会の為、井
清寿にてPM 6:00より

名古屋東南R C 11/26(木)夜間例会の為、
PM 6:00より

名古屋瑞穂R C 11/26(木)職場例会の為、名
古屋市立博物館にてPM
12:30より

名古屋港R C 11/27(金)IGF全員登録の
為、11/21(土)PM12:30より

名古屋空港R C 11/30(月)3R C合同例会の
為、11/25(火)小牧ロイヤル
にてPM 12:30より

◇次回例会(11月17日)

友愛の日で立食例会の為、講演はございません。

◇次々回例会(11月24日)

講演 “将棋と勝負”

将棋連盟八段(名古屋東R C会員)

板谷 進氏 (紹介 安藤君)